



まなび舎

令和7年10月31日(金)

東京都立港特別支援学校長



岡戸 良雄

No. 8

東京都特別支援教育推進計画（第二期）第三次実施計画について

校長 岡戸 良雄

この学校だよりが皆さんのお手元に届くころ、季節もすっかり秋本番になっていることと想います。体調の変化にはお気を付けてください。

新学期初めに東京都特別支援教育推進計画に伴う校舎改築のお知らせをお配りしました。2034年を目指して現校舎の改築を予定しております。その際、現在の高等部（普通科・職能開発科）に加えて小学部、中学部を併設した小中高揃った知的障害特別支援学校に再編される予定です。想定される学級の規模は66学級規模になる予定です。

改築に伴い、4年間ほど仮設校舎への移転も計画されています。配布しましたお知らせには「中央区晴海2丁目」とありますので、予定地を視察してきました。



最寄り駅は都営大江戸線月島駅、又は勝どき駅となります。

現地までは徒歩で15分ほどの距離になります。

晴海通りに面した元駐車場で現在は更地です。

高層住宅、商業施設が近隣に多いと感じました。

職能開発科 第1学年移動教室

職能開発科主任 杉原 英雄

職能開発科第1学年移動教室は、10月16日(木)、17日(金)に1泊2日、都内及び神奈川県川崎市で実施しました。入学後初めての宿泊行事に向けて特別活動の時間を中心に準備を行いました。

1日目は品川駅に時間通りに集合し、電車で東京駅へ。丸の内南口改札を出ると最初の見学先である東京ステーションホテルの方々がお出迎えてくださり、ホテル内に案内していただきました。東京駅と東京ステーションホテルの歴史や飲食業の心得、おもてなし等についての話を聞きました。その後フカフカのカーペットの上を歩きながらホテル内を見学し、テーブルマナー講習を受けました。おいしい料理を食べながら、椅子の座り方、ナプキンの使い方、カトラリーの使い方等を学びました。東京駅から上野駅に移動し、国立科学博物館でグループに分かれて見学をしました。大昔の人の生活や様々な生き物についてなど、たくさんの展示物を興味深く見学しました。見学後は上野駅から矢向駅へ行き、宿舎に移動しました。短い時間でしたが、部屋で仲間と交流することもできました。

2日目は電車とバスを使い、東京大空襲・戦災資料センターに行きました。戦時中の生活や空襲について講義と施設内の見学を通して学び、戦争の悲しさと平和の大切さを理解しました。見学後は電車で浅草に移動し、昼食にてんぷら定食を食べました。就職したら自分の給料で家族をはじめお世話になった人に今回の移動教室の昼食のような食事を御馳走できるといいですね、という話をしました。卒業後の目標の一つになってくれればと思います。昼食後は日本最古の遊園地、花やしきでグループ活動を行いました。グループの仲間と一緒に乗り物に乗ったり、お土産を買ったりして楽しいひと時を過ごしました。解散場所の品川まで安全に気を付け、最後までルールを守って行動できました。

東京ステーションホテルで学んだ魔法の言葉「ありがとう」はチームで働く飲食業だけでなく、他の職業や日常生活の中でもたくさん使いたい言葉です。生徒の皆さんには今回の移動教室の思い出を大切にするとともに、周りの人に積極的に魔法の言葉「ありがとう」を言えるように意識して今後の学校生活を過ごしてほしいと願っています。保護者の皆様、様々な場面で御協力いただきありがとうございました。引き続き、よろしくお願ひいたします。